

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	観光企画課	職	課長	氏名	西尾 和秀
評価者	組織	観光企画課	職	課長	氏名	西尾 和秀

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,753 (H29)	24,915 (H30)	B
施策2	次代を担う石川の観光人材の育成に向けた取組を強化	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,753 (H29)	24,915 (H30)	B

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価		
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性	
					(年度)	(年度)							
施策1	課題1 新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,753 (H29)	24,915 (H30)	1	いしかわスイーツ博開催事業	観光客全般	8,000	8,000	B	継続
							2	金沢城・兼六園四季物語開催事業	観光客全般	17,600	17,600	A	継続
							3	いしかわの観光資源商品化促進事業	観光事業者、旅行会社等	4,000	4,000	B	継続
							4	体験型観光推進事業	観光客全般	3,000	370	B	継続
課題2	石川ファンの拡大を図るためのおもてなしの向上	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,753 (H29)	24,915 (H30)	1	観光客の声を活かすおもてなし向上事業	観光客全般	1,900	1,900	B	継続
							2	ウェルカムいしかわ推進事業	観光事業者、一般県民	320	100	B	継続
課題3	石川ならではの魅力の発信	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,753 (H29)	24,915 (H30)	1	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	一般観光客	110,650	110,650	B	継続
課題4	広域連携による県域を越えた周遊観光の促進	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,753 (H29)	24,915 (H30)	1	加賀温泉旅館等誘客促進事業	観光客全般	18,000	7,670	B	継続
施策2	課題1 観光振興を担う人材の育成	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,753 (H29)	24,915 (H30)	1	次代を担う石川の観光人材育成事業	観光事業者、一般県民	2,100	2,100	A	継続

※人数については、暦年の数値である

事務事業シート（行政経営Cシート）

事務事業名	いしかわスイーツ博開催事業	事業開始年度	H24	事業終了予定年度		作 組 織	観光企画課
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016	成 職・氏名	主任主事 西島 明里	者 電話番号	076 - 225 - 1542 内線 3926

◎事業の目的

「菓子処石川」において、特に女性に人気の高いスイーツをテーマにしたイベント等を行うことにより、石川ファンを増やし、観光誘客を図る。

◎事業の概要

- (1) 主催 石川県、(公社)石川県観光連盟
- (2) 協力 石川県菓子工業組合、(一社)石川県洋菓子協会
- (3) 後援 北國新聞社
- (4) 内容 百万石の菓子文化 いしかわスイーツ博2018
 - イベント
 - ・開催日時 平成30年10月13日(土)、14日(日) 両日とも10:00～17:00
 - ・会場 石川県政記念しいのき迎賓館
 - ・内容 県内和洋菓子店による菓子販売
県産食材を使った「イベント限定」菓子の試食(又は販売)
スイーツ茶会
 - Instagram投稿キャンペーン
 - ・実施期間 平成30年9月8日(土)～10月14日(日)
 - ・内容 お気に入りの石川県の和菓子・洋菓子の写真を投稿してもらう
キャンペーン
 - Instagramマーの招へい・投稿
 - ・実施期間 平成30年9月20日(土)～21日(日)
 - ・内容 3名の女性Instagramマーを本県に招へいし、能登・金沢・加賀のスイーツ店を巡った様子をInstagramに投稿
- (5) 事業費 12,000千円(県 8,000千円、市町等 4,000千円)
- (6) 交付先 (公社)石川県観光連盟

施策・課題の状況

施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただく石川ファンを拡大	評価	B			
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大					
指標	観光入り込み客数	単位	千人			
目標値	現状値					
	令和7年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	30,000	21,611	25,018	24,588	24,753	24,915

事業費

	(単位：千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	予算	15,000	25,000	15,000	10,000	8,000
	決算	15,000	25,000	15,000	10,000	8,000
一般財源	予算	15,000	0	0	0	8,000
	決算	15,000	0	0	0	8,000
事業費累計		45,000	70,000	85,000	95,000	103,000

評価

項目	評価	左記の評価の理由														
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	<p>H30年度で7回目の開催となり、イベント開催日は天候にも恵まれたことから、対前年比で入込数も増加した。また、新たな情報発信としてInstagramを活用し、投稿キャンペーンでは286件の投稿が、Instagramマーの投稿では約1万件の「いいね」があるなど、菓子文化の発信に一定の効果があった。</p> <p><イベント入込数></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td> </tr> <tr> <td>19.5千人</td><td>21.0千人</td><td>22.0千人</td><td>42.0千人</td><td>42.0千人</td><td>17.0千人</td><td>20.0千人</td> </tr> </table> <p>※H27は井サミットとの合算 ※H28は食のてんこもりフェスタとの合算</p>	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	19.5千人	21.0千人	22.0千人	42.0千人	42.0千人	17.0千人	20.0千人
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30									
19.5千人	21.0千人	22.0千人	42.0千人	42.0千人	17.0千人	20.0千人										
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関係のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	<p>R1年度は、期間を限定したInstagramマーの活用に加え、「ほっと石川旅ねっと」内に「いしかわの菓子文化」を紹介するウェブページを作成するなど、ウェブやSNSなど各種媒体をこれまで以上に活用して幅広く情報発信を行い、更なる誘客を図る。</p>														

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	「金沢城・兼六園四季物語」開催事業	事業開始年度	H14	事業終了予定年度	
		根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作成者	組織	観光企画課				
	職・氏名	主事 塩田 顕成				
	電話番号	076 - 225 - 1542 内線 3925				

●事業の背景・目的

金沢城公園や兼六園などを舞台に、夜の魅力アップを図ることを目的に、四季を通じてイベントを開催し、観光石川の魅力を県内外にアピールすることで、石川ファンを増やし、観光誘客を図る。

●事業の概要

- ・金沢城・兼六園ライトアップ

雰囲気異なる金沢城・兼六園の特徴を活かしたイベントを実施(計57日間)

タイトル	開催日	開催時刻	備考
春の段 (5日間)	平成30年5月2日(水)～5月6日(日)	18:30～21:00	ライトアップ
初夏の段 (3日間)	平成30年6月1日(金)～3日(日)	19:00～21:00	ライトアップ
夏の段	(4日間) 平成30年6月29日(金)、30日(土) 平成30年7月6日(金)、7日(土)	19:30～21:00	ホテル観賞会
	(3日間) 平成30年8月10日(金)～12日(日)	18:30～21:00	ライトアップ
秋の段 (23日間)	平成30年11月9日(金)～12月1日(土)	17:30～21:00	ライトアップ
冬の段 (19日間)	平成31年2月1日(金)～19日(火)	17:30～21:00	ライトアップ

●負担金交付先・事業規模

- ・交付先：石川の四季観光キャンペーン実行委員会(会長：石川県観光戦略推進部長)
- ・事業規模：26,481千円(県負担 17,600千円、金沢市負担 8,300千円、繰越金581千円)

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	B
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大					
	指標	観光入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	30,000	21,611	25,018	24,588	24,753	24,915

事業費						
(単位：千円)		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	予算	12,763	17,600	17,600	17,600	17,600
	決算	12,763	17,600	17,600	17,600	17,600
一般	予算	12,763	17,600	10,200	17,600	17,600
	決算	12,763	17,600	10,200	17,600	17,600
財源	決算	12,763	17,600	10,200	17,600	17,600
事業費累計		121,051	138,651	156,251	173,851	191,451

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>	A	来園者へのアンケート結果によると、県外からの来園者の割合が全体の7割を超えるとともに、満足度についても約9割の方が「満足」と回答していることから、イベントの満足度は高く、また県外客の本県への誘客にも寄与していると考えます。 (※ライトアップ時の来園者数 H30:199,041人 [前年度比+57,373人])
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県間とのあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>	継続	金沢城公園・玉泉院丸庭園・兼六園といった本県の貴重な観光施設を三位一体で見せることにより、本イベントが夜の観光資源として着実に定着してきている。 R1年度は、多くの来園者が見込まれるゴールデンウィークや夏休み期間の開催日を増やすなど、まだ来園したことがない方のみならず、リピーターの獲得にも繋げ、より一層魅力あるイベントとなるよう取り組む。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわの観光資源商品化促進事業	事業開始年度	H29	事業終了予定年度	
	根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作成者	組織	観光企画課		
	職・氏名	専門員 正和 潤子		
	電話番号	076 - 225 - 1539 内線 3921		

事業の背景・目的
 北陸新幹線金沢開業効果の全県波及と持続発展を図るため、平成26年度から「いしかわ旅行商品プロモーション会議」を開催し、地域の観光資源の発掘・磨き上げを進め、旅行商品化につなげる取り組みを行ってきた。
 29年度から、旅行商品の造成に精通した「旅行商品企画マネージャー」を石川県観光連盟に配置しており、引き続き、観光資源の更なるブラッシュアップと首都圏等の旅行会社へのプロモーションを一層強化する。

事業の概要
 旅行商品造成に精通した旅行商品企画マネージャー(大手旅行会社からの出向)を石川県観光連盟に配置
 (業務内容)
 (1) 観光資源の更なるブラッシュアップによる新旅行商品の開発
 (2) 旅行会社へのプロモーション

施策・課題の状況					
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	評価	B		
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大				
指標	観光入り込み客数	単位	千人		
目標値	現状値				
令和7年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
30,000	21,611	25,018	24,588	24,753	24,915

事業費						
(単位：千円)		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	予算				4,000	4,000
	決算				3,400	4,000
一般財源	予算				2,000	2,000
	決算				1,700	2,000
事業費累計					3,400	7,400

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	旅行商品企画マネージャーの配置により、同氏による市町等への指導・助言や勉強会の開催等を通じ、旅行会社へ提案する観光資源のブラッシュアップ(現地へのアクセス方法の確保や観光素材を結んだ広域的な企画の開発)が図られた。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県間等のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	引き続きマネージャーを配置し、観光資源の更なるブラッシュアップやプロモーションの強化を図る。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 体験型観光推進事業	事業開始年度	H30	事業終了予定年度	
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作成者	組織 観光企画課
	職・氏名 主事 清水 一樹
	電話番号 076 - 225 - 1539 内線 3939

事業の背景・目的

近年の消費トレンドは「モノ消費」から「コト消費」へ変化しており、旅行者のニーズも体験志向へと変化している。
 こうした中、旅行会社からは、新たな体験やより深掘りした体験プログラムの提案を求められていることから、今後の本県における体験型観光のあり方について、有識者等による検討会議を設置し検討を行う。

事業の概要

いしかわの体験型観光検討会議の開催
 (検討会議委員 計5名)

- ・学識経験者(観光学や観光ビジネスに精通したコンサルタント等)
- ・旅行会社(旅行商品造成部門の責任者)

(参加者)

- ・市町、観光団体

(内容)

- ・旅行トレンド・ニーズの紹介や県内体験素材の洗い出し
- ・現地調査の実施
- ・地域毎の特徴を活かした今後の体験型観光の方向性の検討

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	評価	B			
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大					
指標	観光入り込み客数	単位	千人			
目標値	現状値					
	令和7年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	30,000	21,611	25,018	24,588	24,753	24,915

事業費						
(単位：千円)		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	予算					3,000
	決算					370
一般財源	予算					1,500
	決算					185
事業費累計					0	370

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	近年の「モノ消費」から「コト消費」へというトレンド・ニーズや本県の観光の特長を踏まえ、今後の本県における体験型観光のあり方について、有識者による検討会を開催し、観光素材の開発に向けた方向性が示された。 ※有識者による検討会 3回開催
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	R1年度は、各市町に素材開発の専門家を派遣し、検討会議で示された方向性を踏まえながら、観光素材の開発(発掘・磨き上げ)に取り組む。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 観光客の声を活かすおもてなし向上事業	事業開始年度 H27	事業終了予定年度
	根拠法令・計画等 ほっと石川観光プラン2016	

作	組	織	観光企画課		
成	職	氏名	主任主事 小林 祐樹		
者	電話番号	076 - 225 - 1127 内線 3928			

<事業の背景及び目的>

北陸新幹線により増加している観光客を「おもてなし」の心を持って迎え、観光地石川のより一層のイメージアップやリピーター客の確保につなげるため、お客様が本県に対し、どのように思っているのか、良い意見、悪い意見を問わず受け止め、広く観光業界全体で共有し、迅速かつ柔軟に対応できる体制を整えることを目的とする。

<事業の概要>

新幹線開業後の実態や問題点を把握し検証するため、「お客様の声」を募集する。併せて、同じクレーム等が発生しないよう、業界全体で「お客様の声」を共有し、「おもてなし」の向上を図る。

交付先：(公社)石川県観光連盟

- (1) アンケートハガキの作成、設置
設置先：県内主要駅、道の駅、観光情報センター、空港、宿泊施設 等
- (2) 観光関係団体との情報共有
いただいた声を取りまとめ、観光連盟会員やその他観光関係団体にデータを送付

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	B
課題	石川ファンの拡大を図るためのおもてなしの向上					
	指標	観光入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	30,000	21,611	25,018	24,588	24,753	24,915

事業費						
	(単位：千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	予算		3,000	2,000	2,000	1,900
	決算		3,000	2,000	2,000	1,900
一般	予算		0	0	2,000	1,900
財源	決算		0	0	2,000	1,900
事業費累計			3,000	5,000	7,000	8,900

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>	B	これまでに頂いたお客様からの声について、関係団体や事業者間で共有するとともに、改善を求める意見は、対象施設に連絡し、改善を促すといった取組みを積み重ねてきた結果、平成30年度に寄せられたご意見では、「満足」、「やや満足」の評価が82.2%となり、昨年度(平成29年度:81.9%)から引き続き、高評価が8割を超える高い水準を維持できている。
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県間等のあり方を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>	継続	引き続き、観光客の意見や要望を的確に把握し、関係団体や事業者等と連携して、観光地石川のイメージアップや、リピーター客の確保につなげていく。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	ウェルカムいしかわ推進事業	事業開始年度	H22	事業終了予定年度	
		根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作	組	織	観光企画課		
成	職	氏名	主任主事 小林 祐樹		
者	電話番号	076 - 225 - 1127 内線 3919			

<事業の背景及び目的>

北陸新幹線金沢開業により増加している観光客を「おもてなし」の心を持って迎え、観光地石川のより一層のイメージアップやリピーター客の確保につなげるため、県民総ぐるみで「おもてなし」向上に向けた取り組みを推進し、県民一人ひとりが当事者意識を持つための意識浸透を図る。

<事業の概要>

観光事業者向け、一般県民向けの「おもてなし講座」を開催

交付先 : (公社)石川県観光連盟

スキルアップを図りたい観光事業者やおもてなしについて学びたい一般県民向けにおもてなしに関する講習会を開催する。(テーマに応じて講師を派遣)

対 象: 企業や各種団体(公民館、地域団体など)が開催する会合、研修会等

内 容: 「私たちにもできるおもてなし」、従業員向けマナー講座など

講師例: 観光ボランティアガイド、観光事業者(宿泊・交通など)の経営者など

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	B
課題	石川ファンの拡大を図るためのおもてなしの向上						
	指標	観光入り込み客数			単位	千人	
	目標値	現状値					
	令和7年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	30,000	21,611	25,018	24,588	24,753	24,915	

事業費						
(単位: 千円)		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	予算	5,500	500	500	400	320
	決算	5,500	500	500	160	100
一般	予算	5,500	500	0	400	320
財源	決算	5,500	500	0	160	100
事業費累計		24,200	24,700	25,200	25,600	25,920

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	これまで、県民がおもてなしについて考えるきっかけづくりとする「おもてなし講座」等を開催し、おもてなし講座は延べ12,671人が受講している。(H30年度: 15回・865人) H30年度に観光客から寄せられたご意見も引き続き、「満足」、「やや満足」の評価が8割を超えており、「おもてなし」の維持・向上を図ることができた。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	観光地石川のイメージアップや、リピーター客の確保のため、引き続き、企業や団体へおもてなし講座の周知を行い、受講者の増加を目指し、県民一人ひとりが当事者意識を持つための意識浸透を図る。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	事業開始年度	H28	事業終了予定年度		作組織	観光企画課
		根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016			成職・氏名	主任主事 夷藤 昂
						電話番号	076 - 225 - 1126 内線 3917

事業の背景・目的
 平成28年3月に策定した「ほっと石川観光プラン2016」に基づき、北陸新幹線金沢開業効果の持続・発展に向けた国内誘客に向けたプロモーション活動の円滑な実施のため、(公社)石川県観光連盟に対して資金繰りに必要な資金の貸し付けを行う。

事業の概要
 1 貸付額 110,650千円
 2 貸付先 (公社)石川県観光連盟

【参考】実施事業内容
 ○能登・加賀・金沢における各地域での魅力づくり
 能登ふるさと博の開催(通年開催)、倶利伽羅開山1300年イベントの実施(秋)、加賀の國広域観光イベントの開催(通年)、金沢での食と音楽によるイベント(冬)や魅力的な観光素材づくり

○いしかわ旅行商品プロモーション会議の開催
 市町・観光団体等が発掘・磨き上げた観光素材を旅行会社の商品造成責任者に提案し、助言を受ける会議の開催

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	B
課題	石川ならではの魅力の発信						
	指標	観光入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	令和7年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	30,000	21,611	25,018	24,588	24,753	24,915	
事業費							
	(単位:千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
事業費	予算			92,000	149,150	110,650	
	決算			92,000	149,150	110,650	
一般	予算			0	0	0	
財源	決算			0	0	0	
事業費累計				92,000	241,150	351,800	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	北陸新幹線金沢開業効果を全県に波及させるため、各地域での魅力づくりや旅行商品造成に向けた取り組みを行った結果、能登・加賀・金沢それぞれで観光入込客数は開業前を上回っており、開業効果の全県波及に寄与している。 能登地域:H30 7,743千人(対H26比+111.7%) 加賀地域:H30 5,779千人(対H26比+108.1%) 白山地域:H30 948千人(対H26比+106.2%) 金沢地域:H30 10,445千人(対H26比+123.7%)					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	県内全域への誘客促進を図るため、各地域での魅力づくりや旅行商品造成に向けた取り組みの推進など、引き続き、(公社)観光連盟が実施する事業に対し必要な資金の貸し付けを行う。					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 加賀温泉旅館等誘客促進事業	事業開始年度	H20	事業終了予定年度	組 織	観光企画課
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016		職・氏名	主事 大橋 加奈
				電話番号	076 - 225 - 1542 内線 3927

<事業の背景及び目的>

東海北陸自動車道及び世界遺産登録の五箇山・白川郷エリアと、加賀温泉郷・辰口温泉・白山温泉郷の観光連携を図り、誘客を促進するために、白山白川郷ホワイトロード通行料の優待企画を実施する。

<事業の概要>

- 白山白川郷ホワイトロード「温泉に泊まって」片道無料キャンペーン(18,000千円)
- (1) 白山白川郷ホワイトロード通行料金の実質片道無料化(15,500千円)
- ①対象者 自家用車等を利用して加賀地域の協賛宿泊施設に宿泊した人
 - ②協賛宿泊施設 87施設(あわづ温泉5、片山津温泉11、山代温泉17、山中温泉17、辰口温泉3、白山温泉郷34)
 - ③実施期間 平成30年6月15日～11月13日(白山白川郷ホワイトロード供用期間中)
 - ④料金体系(片道) 普通車1,600円、軽自動車1,400円、マイクロバス4,900円、大型バス10,800円
- (2) 広報宣伝の実施(2,500千円)
- ①協賛宿泊施設、観光関連団体、道の駅、三大都市圏などへの広報チラシ・ポスターの配布(10万枚)
 - ②「感動十景」(夏・秋号)への広告掲載
 - ③渋滞予測ガイド広告掲載
 - ④PRツール(のぼり旗、パンフレットラック、ポストカード)作成・配布による広報宣伝
 - ⑤サービスエリアへのチラシ配架

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	B
課題	広域連携による県域を越えた周遊観光の促進					
	指標	観光入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	30,000	21,611	25,018	24,588	24,753	24,915

事業費						
(単位:千円)		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	予算	33,000	18,000	18,000	18,000	18,000
	決算	26,749	11,492	11,098	8,841	7,670
一般	予算	33,000	18,000	18,000	18,000	18,000
財源	決算	26,749	11,492	11,098	8,841	7,670
事業費累計		188,195	199,687	210,785	219,626	227,296

評価																				
項目	評価																			
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>	B H30年度は大雨や台風通過の影響等により、片道無料キャンペーンの利用台数は減少したが、キャンペーンを利用したお客様からは「来年もぜひ実施してほしい」という声があるなど、宿泊者数の確保策として着実な効果がある。																			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>開通期間(一部・全線)</td> <td>160日間</td> <td>155日間</td> <td>149日間</td> </tr> <tr> <td>利用台数</td> <td>61,258台</td> <td>59,034台</td> <td>59,351台</td> </tr> <tr> <td>日平均台数</td> <td>383台</td> <td>381台</td> <td>398台</td> </tr> <tr> <td>片道無料キャンペーン</td> <td>6,213台</td> <td>4,640台</td> <td>4,040台</td> </tr> </table>		H28	H29	H30	開通期間(一部・全線)	160日間	155日間	149日間	利用台数	61,258台	59,034台	59,351台	日平均台数	383台	381台	398台	片道無料キャンペーン	6,213台	4,640台
	H28	H29	H30																	
開通期間(一部・全線)	160日間	155日間	149日間																	
利用台数	61,258台	59,034台	59,351台																	
日平均台数	383台	381台	398台																	
片道無料キャンペーン	6,213台	4,640台	4,040台																	
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>	継続 ホワイトロードを活用した加賀・白山エリアの誘客、さらには加賀地域の温泉旅館の宿泊者を確保していくため、インターネットや情報誌など、更なる周知を図り、引き続きキャンペーンの活用を通じた誘客に取り組む。																			

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 次代を担う石川の観光人材育成事業	事業開始年度	H28	事業終了予定年度		作 組 織	観光企画課	
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016			成 職・氏名	主任主事 宮本 達矢	
					者 電話番号	076 - 225 - 1127 内線 3923	

<事業の背景及び目的>

北陸新幹線の金沢開業に伴う観光入り込み客の拡大や外国人旅行者の増加、ICTの発達による旅行者の趣味嗜好の多様化など、本県観光をとりまく環境が大きく変化している。

こうした中、これからの石川の観光がさらに飛躍、発展するためには、既存の観光産業の枠にとらわれず、様々な業種の方々が分野を超えて新しいビジネスの創造にチャレンジするとともに、常に魅力あるサービス(価値)を提供していくことが求められている。

「いしかわ観光創造塾」では、受講生同士が将来のビジョンを共有し、ともに学ぶことで、企画・実行力を備えた次代のリーダーを育成する。

<事業の概要>

「いしかわ観光創造塾」の開催

- ・宿泊、交通、旅行業、観光施設、飲食などの幅広い観光関連事業の若手経営者や幹部候補等を対象として、観光に関わる多様な分野の人々と連携・協力して、本県観光の飛躍・発展に貢献できる人材を育成する。

期間:平成30年4月～平成30年11月

講座:13回

内容:リーダーに求められる、マーケティングやマネジメント、ファイナンス等の能力について、一方的な講義ではなく、グループワークを基本とした主体的に学ぶ形式を採用し、かつ取扱う内容についても具体的な事例(ケースメソッド)を取り入れることで、実践的な課題解決手法を学ぶ。

交付先:(公社)石川県観光連盟

施策・課題の状況							
施策	次代を担う石川の観光人材の育成に向けた取組を強化					評価	B
課題	観光振興を担う人材の育成						
	指標	観光入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	令和7年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	30,000	21,611	25,018	24,588	24,753	24,915	

事業費					
(単位:千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費 予算			3,000	3,000	2,100
事業費 決算			1,577	2,850	2,100
一般 予算			0	3,000	2,100
財源 決算			0	2,850	2,100
事業費累計			1,577	4,427	6,527

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	A	第1期を上回る26名(前年比+9名)の参加があった第2期いしかわ観光創造塾の開催により、分野を超えたネットワークの構築による新たなビジネスの創出や魅力あるサービス等の提供を後押しし、受講生が連携したツアーの販売が実現するなどの成果があった。また、修了時のアンケートでは、満足度は100%と高い評価を得ている。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	引き続き、観光立県を標榜する本県観光の将来を担う人材の育成について、観光連盟や関係団体と連携して、しっかりと取り組んでいく。